

【施策評価調査】

施策名	1-2-5	道路管理台帳の整備(デジタル化)と運用		74	政策「1-2. 利便性の高い道路網の形成」を実現するために、主要幹線道路(国・県道)を補完する道路ネットワークを形成します。道路整備の必要性、効果についてわかりやすい情報開示を行い、住民との対話と情報の共有化を実現します。住民参加による道路整備・維持・管理技法を確立します。土地区画整理事業と連携して道路整備を進め、生活環境を向上させます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部都市整備課	担当	施設管理担当		
		リーダー	阿久津 靖		
環境変化	特になし				道路管理業務の効率化を図るため、道路管理台帳のデジタル化を進めます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：道路管理台帳のデジタル化作業進捗率(%)	道路管理台帳・上水道台帳・下水道台帳データ入力 0.0%	計画	42.0%	58.0%			25.0%
		実績	0	0	0		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	0	0	0	5,000,000
	決算	0	0	0	0	

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	
道路台帳整備事業	H21 現計 0	認定道路総延長	住民からの照会等に迅速に対応することができ、サービスの質の向上、事務の効率化が図れ、固定費の削減につながる。		廃止
	H22 計画 5,000,000				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				
	H21 現計				今後の方向性(総合評価)
	H22 計画				

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	行政サービスの質の向上、道路管理事務の効率化を図るうえで、システムの導入は必要である。	
廃止方向			
総合評価	総合評価		
	どういった効率化を図る上でどう整備するのか、明確な方針、得られる成果が示されておらず、住民へのサービス向上が図れるものか施策展開がわからない。よって後期計画に向け当該施策の舵切り(廃止)を検討すること。なお、「道路台帳整備事業」は明確な方針が出ていない現状と経済情勢を考えた上で、道路を整備すること、どちらが優先されるのか、よってH22年度予算計上は見送る。		